

**授業概要**

留学生限定のクラス（全4回の第4回）。人間文化学科に所属する5人の教員（それぞれの専門分野は古典文学、メディア、英語史、日本語、近現代史）が「日本語・日本事情」をテーマに、留学生向けに講義する。日本文化の理解を深めたい留学生も、日本語の力を養いたい留学生も、ぜひ履修してほしい。

**授業計画**

第1回	高山 ガイダンス、新聞の読解
第2回	高山（1）漫画の読解①（使用作品は受講生に応じて決める；以下同様）
第3回	穴井（1）現代語訳で読む古典文学①
第4回	穴井（2）現代語訳で読む古典文学②
第5回	高山（2）漫画の読解②
第6回	井上（1）日本の天皇
第7回	井上（2）映像でみる皇位継承
第8回	高山（3）漫画の読解③
第9回	高山（4）漫画の読解④
第10回	熊田（1）日本の神話
第11回	熊田（2）日本の宗教
第12回	高山（5）漫画の読解⑤
第13回	福島（1）昭和期の政治と文化①
第14回	福島（2）昭和期の政治と文化②
第15回	高山（6）漫画の読解⑥
第16回	レポート試験

**到達目標**

- ・日本文化を理解するのに必要な日本語の「読む、書く、話す、聞く」能力を身につけることができる。
- ・日本文化（歴史、民俗、文学、言語、メディア）について幅広く関心を持ち、把握することができる。

**履修上の注意**

留学生のみを対象とするクラスである。授業に積極的に参加し、遅刻や欠席をしないようにすること。担当者ごとに20点満点で採点するので、全7回の担当者なら1回3点弱相当、全2回の担当者なら1回10点相当の価値があるという計算になるため注意すること。

**予習・復習**

シラバスに記載されたキーワードについて調べておくことが予習になる。また、各担当者の指示に従って課題を提出したりすることが復習になる。

**評価方法**

5人の担当者がそれぞれの担当回で評価し（20点満点）、それらを単純に合計して全体評価とする。評価する項目は、授業態度、課題、レポート課題などがありうるが、担当者によって異なる。期末筆記試験は実施しない。レポート課題が課される場合、担当者ごとに提出の方法や期限について指示する。

**テキスト**

統一テキストは使用しない。教材は各担当者が授業内で配付する。